

第10回(平成30年度)友杯 大会要項

1. リーグ戦

- (a) 第1ステージ(5チーム×16リーグ)【平成30年7月1日締め切り】
5チームのリーグ戦。リーグ1位、2位チームは、第2ステージに進む。尚、リーグ1位、2位チームが、第2ステージ進出を辞退した時は、3位チーム、4位チームへと権利が移行する。
- (b) 第2ステージ(4チーム×8リーグ)【平成30年10月21日締め切り】
4チームのリーグ戦。リーグ1位は、決勝トーナメントに進む。尚、リーグ1位が、決勝トーナメント進出を辞退した時は、2位チーム、3位チームへと権利が移行する。
- (c) 試合時間は、7回戦、1時間45分を過ぎて新しいイニングに入らない。
なお、本年度よりいわゆる『勝ち逃げルール』を採用する。
例:【ケース1】Aがリードの6回表に1時間45分を超過した場合
6回を7回と置き換えて、6回裏の攻撃まで行う。
【ケース2】Bがリードの6回裏のB攻撃中に1時間45分を超過した場合
1時間45分を超えた時点で試合終了となる。審判員は最後の打者の打撃開始前にその旨を両チームに通告し、この最後の打者の記録まで有効とする。
- (d) 3回15点差、4回10点差、5回以降7点差のコールドゲームを採用する。
- (e) 同点の時は、引き分けとする。
- (f) リーグの順位(第1、2ステージ)は、以下の基準で順位を決定する。
①勝数が多いチーム。(引き分けは、0.5勝として数える。)
例:1勝1敗1分 → 1.5勝 > 1勝2敗
②引き分けがある時は、引き分けの数を引いた勝数
例:2勝1敗 > 1勝2分
③勝星が同数の時、(1)(2)(3)の基準で順位を決定する。
(1) 試合消化数の多いチーム
(2) 直接対決で勝利しているチーム
(3) 1試合あたりの失点数の少ないチーム
※ リーグ内の試合消化が著しく少ない場合そのリーグは失格とし、ワイルドカードを採用する。
つまり実行委員の裁量により他グループから進出チームを決定する。
※ 不戦勝/不戦敗は両チームからの結果報告をもって成立する。

2. 決勝トーナメント(8チーム)

- (a) 試合時間は、7回戦、1時間45分を過ぎて新しいイニングに入らない。
- (b) 3回15点差、4回10点差、5回以降7点差のコールドゲームを採用する。
- (c) 決勝戦は、時間無制限の7回戦、イニング優先とする。
- (d) 同点の時は、サドンデス(無死満塁の継続打順)を採用する。サドンデスは、2回まで行う。それでも試合が決まらない時は、最終出場選手9人による抽選(くじ引き)とする。
- (e) 日没サスペンデッドは、イニングに関係なく再試合とします。
- (f) 優勝・準優勝・3位チームを表彰します。

3. 試合の組み方

- (a) 各チームの連絡先を配布します。チームごとに連絡を取り合って試合を組んでください。
- (b) グランド、試合開始時間、審判員は、両チームで協議して決定してください。

4. 試合結果の連絡

試合結果は、勝利チームが本部に連絡してください。
連絡のない試合は、両チーム負け(スコア=0-7)とします。
【連絡先】
ホームページ担当:ラビットタイガース 奥田ヘッドコーチ
【確認事項の連絡先】
実行委員長:ホワイトウイングス 松兼総監督

5. 友杯ホームページ

<http://tomohai.web.fc2.com/>

6. 参加費:5,000円/チーム

7. 参加賞(六年生への記念品)

シーズン終了後、友杯納会時に各チーム六年生への記念品人数分を配布します。

8. 優勝旗の作成

第10回記念大会の印として優勝旗を作成し、各チームには記念品を贈呈する。